

りょうぜん天蚕の会だより

【第 6 号】



発行責任者 りょうぜん天蚕の会 会長 柳沼 泰衛（電話・FAX 024-586-3004）

【 会長あいさつ 】

立春の候、皆様には益々ご健勝のことと存じます。平成17年2月に設立した「りょうぜん天蚕の会」は、この度6年目を迎えました。これもひとえに会員皆様の熱心な活動と関係機関のご支援の賜と厚く御礼申し上げます。

さて、当会の活動趣旨は、霊山の豊かな自然環境を活かし、野蚕である「天蚕」の育成と、その飼育体験交流や独特の風合いをもつ萌葱色の繭・絹糸の新たな加工や商品化による地域特産品の創成をはかり、活力ある地域づくりを推進しようとするものです。

設立以来、これまで伊達市、福島県関係機関等のご支援をいただき、新たな繭製品開発に取り組むと共に、小学校等への教材提供、市シルクホール天蚕展示、糸繰り体験交流活動等を行ってきました。そして、6月にはNHK「ふるさと一番」に当会の地域活動状況が紹介され話題となりました。

21年度は約6,000粒の繭を収穫し、「天蚕紬糸による布織物や和装装飾品」等の製作に利活用を図ってまいりました。また、「全国特産品交流フェア」への参加及び「福島県特産品コンクール」への出品で入賞するなど、特筆すべき活動を実践しました。これらは新聞テレビの取材報道により全国から大きな反響と注目を浴びたところであります。

22年度はこの成果と実績を基に更なる前進を図るつもりでありますので、皆様方のご支援ご協力をお願い申し上げます。



NHK「ふるさと一番」全国生放送

後掛田に飼育ハウス増設

～大橋亮治氏ハウスに苗木移植。繭増収に弾み～

掛田のドラックストア「てらしま」南に隣接する空きハウスに、新会員大橋亮治氏がエゾノキヌヤナギ約300株を移植し飼育を開始しました。

ハウスには網目の大きい防鳥ネットを張り飼育を試みました。春に株を移植し、秋蚕飼育を予定しましたが孵化状況が極めて悪く、少々の収穫となり試験的結果を把握できず飼育を終えました。

国道349号の西側に隣接しているので、何事が始まるかと高い関心があつまりました。



平成21年度日本野蚕学会に参加

～高い注目度「天蚕ハイブリッドショー」～

6月20～21日、群馬県富岡市で開催された野蚕学会に会長他4名参加しました。昨年度は福島県農業総合センターで開催され、会長が当会の天蚕品を紹介して事例発表した学会です。赤井会長より「明年は国際野蚕学会が東京開催となるので今年も是非参加を」と要請があったものです。富岡製糸工場跡で開催された今学会は成果発表が目白押しでした。

富岡製糸工場の建築物は日本の近代化遺産の象徴的建造物として「世界遺産登録」を働きかけている状況下の中で市長並びに群馬県選出の国会議員までゲスト参加するほどの力の入った学会でした。

当会製作の「天蚕ハイブリッドショー」「天蚕紬懐紙入れ」は注目度が高く、販売、予約が相次ぎ、意義のある参加でした。また、会場には「全国天蚕セミナー」に参加した方々も多く来場しており旧交を温めました。



りょうぜん天蚕の会だより

NHKテレビ 「ふるさと一番」 全国生放送

大反響！ 全国から問い合わせ殺到！

6月25日、12時20分から45分までNHK昼の番組「ふるさと一番」で「りょうぜん天蚕の会」の活動が、女優酒井美紀さんをゲストにNHK福島の小林陽広アナウンサーの軽快な司会により全国に紹介されました。

数日前からの準備とともに当日は朝7時から天蚕会員21名、地元の協力25名、NHKスタッフ約40名が協力し、慌ただしくも万全の体制を整え本番を迎えました。

放送開始！ 酒井さんが襟に巻いた鮮やかな萌葱色の天蚕布の紹介を初めに、会長夫妻により飼育ハウスの天蚕と繭、集落センター内での糸繰り作業、天蚕布の機織り作業が案内されました。そして最後はグラウンドに出て、松本幸治会員の「霊山太鼓」、菅野公会員の「フルート」、大友靖子会員の「熱唱」により、スポーツ民謡会員とともに全員で「天蚕音頭」を踊りました。またたく間の25分間でしたが見事な進行で無事放送を終了しました。

放送終了と同時に全国からの問い合わせが殺到し、天蚕への関心の大きさに驚かされました。私たち会員にとってこの上ない記念すべき日となりました。



酒井美紀さん ↑



センター広場で「天蚕音頭」 ↑



本番前 カメラテストの様子 ↑



↑ 荒木雄佑デレクター（左）と
小林陽広アナウンサー（右）

シルクホール（伊達市役所本庁舎）で展示会

～仁志田市長ら大勢来場～

10月2～3日に伊達市役所本庁舎のシルクホールで天蚕品展示体験会を開催しました。会場には「ストール」や「ハンドバッグ」「ブローチ」など天蚕製品をはじめ、「幼虫」や「さなぎ」の展示、「糸つむぎ体験」などを行いました。

初日の2日には仁志田市長も訪れ、会長からの説明を興味深く聞いておられました。約120名来場者は美しい萌葱色に感嘆の声が聞かれるとともに、初めて見る幼虫に驚きの声も上がるなど会場は終始にぎやかでした。



平成21年度県特産品コンクールで奨励賞受賞

～ハイブリッド主体のショールに注目～

11月18日、第9回福島県特産品コンクールが福島市「グリーンパレス」で開催された。天蚕の会ではショール二種を工芸部門に出品したが、その内の「天蚕ハイブリッドショール」が奨励賞を受賞した。昨年は「ハンドバッグ」、一昨年は「アクセサリー」を出品してきたが三年目の正直での受賞となった。今年も審査員がプレゼンテーションの折「何で天蚕なの？」と聞くなど、審査員事態の認識度の低さが県農林園芸課長にも諦めムードが漂っていた。

プレゼンテーションには会長の他、柳沼信子さんと八島恭子さんの三人が説明に努めた。信子さんが着用していた細身のショール（経糸は絹の草木染め、縦糸が天蚕の紬）も注目度が高かったとか。

今後三年間、福島県物産振興会の開催する展示会等でPRされることになりますから注文が増えることが期待されます。注文に応じられる生産体制の強化が望まれます。



りょうぜん天蚕の会だより

J R 福島駅西口の観光案内所に天蚕品展示

～当会活動を全国に発信～

11月30日より2月末まで福島駅西口にある福島観光案内所に伊達市商工観光課の推薦により当会の商品7点を展示することになった。展示商品はハンドバック、アクセサリー等少々ではあるが当会の活動の一端が全国に発信する機会を得たので、駅に行かれた折りには覗いてみて下さい。



ふるさと福島大交流フェアに展示即売

～県知事も出席、関東地区県人会に好評～

12月20日(日)、東京池袋の「サンシャイン・シティ」ワールドインポートマートビル4階展示ホールにおいて「ふるさと福島大交流フェア」が県観光交流課主催で開催され、りょうぜん天蚕の会にも展示即売の要請があり参加した。

このフェアは県知事も出席して関東地区に在住する県人並びに友の会会員に案内する企画である。天蚕の会はちょうど県特産品コンクールで奨励賞を受賞していたので参加要請となったものである。

急な要請ではあったが八島事務局長夫人の恭子会員は東京が故郷であり、自家用車で上京し売り子に加わってくれた。あらかじめ二人の東京在住の知人に通知していたお陰でにぎわい、けっこうな売り上げがあった。

また、柳沼会長の東京在住のお兄さんご夫妻も来展され、天蚕への思い入れに話の華が咲いた。

来場者は約600名。



りょうぜん天蚕の会だより

つむぎ研修会を実施

～商品の増量に向け、和気あいあいと～

9月12日(土)午前9時から中川集落センターで13名が参加し「つむぎ研修会」を開催しました。研修では今年の作業経過や県内外の反響、繭と商品の増量などの話題が尽きず相当量の天蚕糸を紡ぐことができました。

休憩時間には菅野公さんがフルートを演奏してくれましたが、何と、参加した佐藤厚子さんのお嬢さんが大学でフルートを学んでいるとのことで、二人の共演となり優雅なひとときを過ごしました。



県特産品コンクール受賞産品フェアに展示

～奨励賞受賞の「天蚕ハイブリッドショール」～

2月4～7日まで、福島市のコラッセ1階で去る11月18日の第9回ふくしま特産品コンクールで受賞した商品の展示フェアが開催されました。

何れも甲乙つけがたい優良な品ばかりですが、我が「天蚕ハイブリッドショール」はひときわ注目され質問が相次ぎ、連日柳沼会長、八島事務長はじめ会員相互に2～3人でその説明にあたりました。展示後半日には大雪にもかかわらず大勢のお客様が来場し、特産品受賞品への関心の高さを知ることができました。



会員の活動スナップ



NHKテレビ「ふるさと一番」放送に係る全国の反響

※【○印は訪門者 個人情報保護のため取扱に留意のこと】

天蚕、ショールを見て感動した	徳島県名西郡 福島市渡利 伊達市柳内	○鎌田恵子 ○本田邦幸・恵美子夫妻 ○高野保夫・千恵夫妻
天蚕・繭・機織りを見学したい (天蚕紬でネクタイを)	静岡県焼津市 千葉県市川市 千葉県船橋市 会津若松市 福島市黒岩 福島市飯坂 福島市飯坂 伊達市	○服部晃男夫妻(ハトリ製茶会長) 橋本 純 ○宮内楨子 田中京子 ○斎藤弘毅 吾妻悠子 天野寿栄子 伊達市婦人会(更生保護グループ)
天蚕を体験させたい(子供達に羽化を) (障害者に織物を)	宮崎県都城市 さいたま市北区	東 征也 ○坪井和子 (NPO 織の音アート福祉協会理事長)
天蚕音頭のテープ(CD)がほしい (天蚕音頭に感激した)	札幌市 千葉市若葉区 茨城県中郷町 栃木県足利市	阿部由紀子 富沢光行 小林京子 柳田喜八郎
天蚕繭・糸などを譲ってほしい	熊本市 鳥取県倉吉市 東京都江戸川区	三小田京子 福田宏枝 渡辺忠次郎
エゾノキヌヤナギのサンプルほしい	東京都八王子市 京都府綾部市	黒岩ますみ 大槻道和
天蚕の「糞」がほしい(研究材料)	北海道旭川市	本田憲一
ショール・バックを購入したい 価格・カタログを	福岡県直方市 北九州市小倉北区 大阪府羽曳野市 名古屋市緑区 東京都東村山市	重松佳子 小島克子 植山かよ子 豊田十紫子 西風アイ子
天蚕布でブラウスを作りたい・見学したい 天蚕紬生地でドレスを作りたい、資料を	茨城県土浦市 兵庫県尼崎市	○天貝諺司・ふく江 夫妻 森原浩緑
天蚕繭のつむぎ方を教えて欲しい	広島市安佐北	橋本幸子
紬の風合いが良い(つむぎ方)	広島県可部市	○小田 貢(山まゆつむぎ同好会)
煮繭での重曹の使い方教えて欲しい	広島県可部市	角谷和子
大学で紬の染色を研究している、資料を	倉敷市	○落合綾香(倉敷芸大生)
“山まゆの 霊山町や 上り月”(俳句)	横浜市青葉区	皆川俊之(元大日本蚕糸会)
大絵馬「天蚕飼育図」解説のため撮影に伺	神奈川県秦野市	○須藤 功(民俗写真家)
天蚕飼育法と製品化について聴きたい	兵庫県芦屋市 長野県東郷市 福井県越前町	皆川 基(大阪市立大名誉教授) 矢野義人 鷺田新吉
天蚕による「地域・むらおこし」期待する	長野県上田市 福島市大笹生 群馬県前橋市	池内 敬 渡辺啓一 青木 研
山まゆの特産品化の実現を願う	群馬県前橋市	青木義篤
皇后さまの親蚕古稀記念誌を市長より贈呈	伊達市総務課	○高野係長
全国農業新聞に掲載するため取材したい	福島市	鈴木正洋(県農業会議)
東京アンテナショップに天蚕商品の展示を決定	福島県観光交流局	吉田 肇(県商品振興戦略課)